

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

「ロータリーは分かちあいの心」



2008.4.1
NO.10
2007～2008年度

目 次

1. ガバナーメッセージ	1～2
2. 2007～2008年度 GSE受入日程表	3
3. コミュニケーションこそ広報活動の原動力	4
4. ロータリーの友について	5～8
5. ガバナー補佐便り	9～13
6. 新入会員紹介	14
7. 訃報	15
8. ポールハリスフェロー・米山功労者（2月分）	16～17
9. ハイライトよねやま	17
10. 文庫通信	18
11. 出席報告（2月分）	19
12. 4月行事予定表	20



RI 会長
ウィルフリッド・J. ウィルキンソン



ガバナー 平原 祥彰

4月はロータリー雑誌月間

国際ロータリー第 2640 地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640

FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: http://www.rid2640g.org/hirahara/

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 平原 祥彰



いよいよ桜花爛漫の 4 月です。皆様お元気でロータリー活動に邁進されている事と存じます。

4 月はロータリー雑誌月間です。私達は“ロータリーの友”を毎月講読し、そこからロータリーの情報を得ることとしております。編集に当っては会員の皆さんに読んでもらうことが最大最終の目標でありますので工夫をこらし、神経を使って、毎号つくられていると理解しております。日本で月刊誌としては返品のないよく売れている雑誌の優等生と云われております。

昨年 8 月、台風のため 1 ヶ月遅れでクラブ会長会議が開かれました。その席で私はクラブ会長諸氏に対して“ロータリーの友”を毎月読んでおりますかと尋ねました。“ガバナー月信”はどうですかと尋ねました。例会で会長の時間に、会長が“ロータリーの話をしな”と云う不思議な話を聴きました。

私達はロータリアンとして自分を磨き、社会に“いいこと”を沢山して、存在感のあるクラブの一員として“ロータリーを楽しもう”と努力している訳ですから、豊富なロータリー情報を手に入れなければなりませんね。

ガバナー月信は費用の関係もあって電子配信です、クラブ事務局は地区の HP からプリントして会員の皆さんに“読めるように提供してくれている”わけですから、是非お読みいただきたいと思います。タイムリーないい話が満載されておりますから。

ウェールズからスティーブジェンキンスさんを団長に GSE 一行が地区を訪れております。今回は IM2 組、4 組、6 組、8 組の担当でお世話することになっておりまして、別紙の予定で日本の 4 月を楽しんでいただくことにしております。担当いただく会員の皆さんには御苦勞をかけますが趣旨を御理解いただいてよろしくお願ひしたいと思います。

私達の地区から昨年 10 月すでにウェールズを訪れ大歓迎をうけ、無事帰国いたしておりまして機会をみつけて帰国報告会を開催しているところであります。

4 月 12 日、13 日は和歌山市内で 2007～08 年度地区大会が開かれます。既に御案内しております通り RI 会長代理としてビチャイ・ラタクルさん、スピーカーとして渡辺和子さん、林紀男さんと豪華メンバーを招聘しております。すでに出席の通知もいただいておりますが地区の最大のイベントでございますので、皆様のご協力により楽しい地区大会にしたいと願っております。地区大会は“親睦を深め”“感銘深い講演を聴き”

“ロータリーについて討議”するために開催されます。御家族の皆様もお誘ひいただい

て御一緒に参加下さいますよう、心からお待ち申し上げます。

6月14日からロサンゼルスにおいて国際大会が開催されます。すでに担当委員長から参加登録のお誘いいたしておりまして、相当数の会員から参加の申込をいただいております。私は西海岸の大都市、アメリカ第2の都市ロスアンゼルスは有名な世界の映画産業の街、美しい海岸沿の観光地やリゾートは活気に溢れ、とても楽しいところと云う印象です。ロサンゼルス国際大会に参加して

1. クラブや地区の奉仕プロジェクトのブースを訪ね、他のロータリアンが実施した奉仕プロジェクトについて学ぶ
2. 世界中でロータリアンがどのように人道的活動や平和、理解を推進しているか学ぶ
3. ロータリーの指導者や世界のロータリアンとの友情の輪を広げ、自身の友情親睦を地球規模にする
4. 次年度会長の為の特別なワークショップや昼食会に参加して、同じ立場の仲間と学習を深める
5. 大会の前後に家族と共に思い出深い旅行を楽しむ

等々、いいことが沢山あります。この機会にロータリアンとして一皮むけてほしい、意気高く成果をあげ、“ロータリーを楽しもう”と呼びかけたい。

私と一緒にロサンゼルスに行きましょう。

私と一緒にロータリーを楽しもう。



2007-2008年度 GSE 受入日程表

2008.3.24現在

日	月	火	水	木	金	土
3月30日	3月31日	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日
関西空港着 (KLM 867便 10:20着) オリエンテーショナル(デザート タワービル25Fさぬきや) 全日空デザートタワーホテル泊	IM8組 ホテル玄閣フロアにて引き受け 昼食後、各ホームステイ宅へ ホームステイ泊	各自 職場見学 各クラス の計画 18:30 堺泉ヶ丘・堺東南 RC合同例会(サカサカ)泊 ホームステイ泊	堺市役所 市長表敬訪問(堺南RC) 仁徳天皇陵 堺市博物館 館・能舞台見学、労災病院訪問 ホームステイ泊	英総領事 表敬訪問 大阪府知事 表敬訪問 松下エコーテクノロジー見 学 18:30堺エニックスRC例 会(ホテル第一堺) ホームステイ泊	3:00 京都観光、金閣寺、 京都御所、各ホームステイ宅 へ ホームステイ泊	USJ ホテル堺ビックライ(泊)
4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日
IM4組 ホテルにて引継ぎ 和歌山城・県立博物館周 辺見学 ホームステイ泊	午前:桃のお花見、香洲の 里、かつらぎ町三谷交番所 見学 昼食:樫(かつらぎ町) 午後:初桜造造、茶道体験、 紀州繊維工業協同組合、見 学の里泊	午前:橋本カントリー見学 (桜お花見) 午後:橋本市民病院、郷 土資料館見学 19:00橋本紀ノ川RC例会 の里泊	午前:紙抄きの里見学 12:00昼食(野岬の里) 午後:ミドリバタ紙工印刷 見学 恵光院泊	9:00勤行・阿字観体験 10:00希望があればコイン ランドリー 12:00昼食(恵光院) 13:00写経他、寺院の生 活体験 恵光院泊	3:00勤行(希望があれば 3:00~)、大門、伽藍見学 12:30高野山RC例会出席 13:30興の院見学 恵光院泊	9:00勤行(希望があれば 6:00~)、霊宝館見学 13:00金剛峰寺見学 IM3組 15:00地区大会(和歌山 市)フタバロータリー泊
4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日
地区大会(和歌山市) 昼食:和歌山城 学友と会合 IM2組 16:30フタバロータリーにて引継 ぎ ホームステイ泊	午前:職業研修 フタバロータリーヨットクラブに て海南3クラブ合同例會出席 午後:海南地場産業見学一 子クラブ、ローキヨウ食品他) 団長のみ紀陽銀行本店見 学 ホームステイ泊	午前:紀三井寺見学後 名草山ハイキング(昼食は 山頂 午後:乗馬、ヨット、 カヌー等アクティビティイ 夕食:ガーデンパティ ホームステイ泊	午前:和歌山大学見学 午後:和歌山県立医科大学 見学 17:00商工会議所にて有 田、御坊に引継ぎ ホームステイ泊	職業研修案内、ジューム 入のみ和歌山県警本部 および交番訪問 午後:県立心の医療セン ター、湯浅醤油工場他見 学 ホームステイ泊	御坊RC例会出席 午後:御坊警察所および 道成寺他見学 夜:有田3クラブ合同例会 (湯浅城) ホームステイ泊	白浜温泉 フタバロータリー 民宿「望海」泊
4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日
IM6組 熊野古道散策 田辺にて引継ぎ(後ホテルに 案内) フタバロータリー泊	フタバロータリー(ヨットクラブ)等) ホームステイ泊	10:00大阪府警本部見学 13:30読売新聞大阪本社見 学 15:15読売新聞大阪本社編 集局英字国際課長佐藤氏 ホームステイ泊	午後 関西国際空港見学 18:30JICA(泉 佐野RC例 会) ホームステイ泊	奈良観光(法隆寺・東大 寺・毛筆) ホームステイ泊	12:30泉南・阪南合同例会 送別会(フタバロータリー) フタバロータリーの国泊	午前:帰国(各人の希望 により関西またはJR和歌 山駅に送迎)

上記スケジュールは訪問者の希望、受け入れ側の都合、天候等の条件により変更することがあります。

コミュニケーションこそ広報活動の原動力

R I 第 2640 地区 雑誌・広報委員長
脇村 重徳



先の国際協議会でウィリアム B.ボイド元 RI 会長は、6 カ国の一般市民を対象に行ったアンケート調査の結果をこう紹介しました。「オーストラリアでは 8 割を超える人がロータリーを正しく理解しているのに、日本では認知度が低く回答者の 48%が『ロータリーとは自分たちのためになることをしている独善的な人々の集まりである』と答えました」。ロータリーの活動はまだ知られていないのです。私たちは地域社会の人々にロータリーの素晴らしい仕事ぶりを知ってもらわなくてはなりません。

私たちの活動は、看板やポスターによる広告、新聞やテレビによる報道などで地域社会に伝えますが、一般の人々がそれに関心を示して視聴してくれるとは限らないので、これだけでは必ずしも十分な広報とはいえません。そもそも広報 (Public Relations) は、組織と公衆との間に良好な関係を築くための行動ですから、広い意味では社会の声に耳を傾ける広聴が必要で、組織と社会双方向のコミュニケーションということになります。つまり、地域社会と活発なコミュニケーションをすることが、ロータリーに対する人々の関心を高め、広報活動を効果的に進める原動力となるのです。

地域社会の人々とコミュニケーションをしようと思えば、相手が受け取れるボールを投げないと意味がありません。相手にきちんと受け取ってもらえるボールとは、決してロータリーの理念や綱領を説いて回るのではなく、地域社会のニーズや期待に応じて実施する私たちの活動そのものなのです。奉仕プロジェクトはまさに、地域社会に役立つために、あるいは地域社会の人々と一緒になって行うわけですから、人々とのコミュニケーションにはうってつけのボールといえます。

このように、私たちの業績をメディアに載せてもらうことだけが広報ではなく、地域の人々にロータリーへの関心を持っていただくすべての活動が広報であると幅広く捉えるべきです。私たちに求められるのは、普段から人々とのコミュニケーションを通じて地域社会と良い関係を築き、ロータリーの認知度を高めていくことであり、そのためには地域に根差した奉仕活動の実践が欠かせません。一人でも多くのロータリーファンをつくり、ロータリーに対する理解と共感を得ることが在籍会員の誇りと熱意を増進し、ひいては会員増強にもつながるのです。

以上

ロータリーの友について



R I 第 2640 地区 友委員
中谷 新治

『ロータリーの友』地区委員に就任して9ヶ月になりました。友委員の主な活動は、3ヶ月に一度の割合で東京において全国34地区から各1名の地区委員が集まり合同会議を行っております。議題の中心となるのは、友誌及び友ホームページの内容の検討、そして購読の促進であります。とりわけ常に検討課題となるのは購読の促進です。他地区でも様々な試みをしている様ですが、あまり効果が出ていないのが現実です。自地区に於きましても購読の「購」の方は会員数に対しまして100%以上の達成をしておりますが、果たして何人の方が読んでおられているのでしょうか？ この9ヶ月間、委員として何も出来ずに過ぎてしまった事を反省しております。

さて、『ロータリーの友』はRI指定記事・情報の他にロータリアン皆さまの投稿原稿が大きく誌面を飾っています。「ロータリー・アット・ワーク」「友愛の広場」「言いたい 聞きたい」「卓話の泉」「俳壇・歌壇・柳壇」等々、投稿の機会は沢山あります。

2640地区では今年度も多くの会員、クラブの記事が掲載されましたが、常連様が多いような気がいたします。もっと多くの皆さまより投稿して頂き、『ロータリーの友』に参加頂ければ、友誌を開く回数も増えるだろうと思います。皆さん『ロータリーの友』に参加しましょう。今後とも皆さまのご協力宜しくお願い致します。

『ロータリーの友』誌は皆さまに興味を持って読んで頂けるよう常に変化をしております。その定義や編集方針・変遷について下記に示したいと思います。

■ 『ロータリーの友』は日本におけるロータリーの機関誌です。

『ロータリーの友』は、国際ロータリー(RI)の認可を受け、ロータリー・ワールド・マガジン・プレスの一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリー・ライフを深めるためにも、またクラブが国際ロータリーと直結しているという確認のためにも必要な媒体である、ということをご理解いただきたいと思ひます。

RIでは、ロータリー地域雑誌の定義として、印刷媒体≧電子媒体の両方をもって地域雑誌

であると規定しています。それを受けてロータリーの友委員会ならびにロータリーの友事務所では、印刷媒体である月刊誌の『ロータリーの友』と電子媒体であるホームページ『ロータリージャパン』の制作、運営に当たっています。

『友』が「おもしろい」「おもしろくない」という発言の中には、ロータリーの雑誌として『友』が願っていることとは違う部分で議論されている傾向があります。『友』委員会の願いは、ロータリアン一人ひとりのためのロータリーについての広がりや深まりのための、いわばロータリー活動の視点からのおもしろさの有無です。それゆえにゴシップを扱ったり、マンガを多用したり、歴史小説を連載することに『友』は組みしません。例えば歴史小説の連載がないから『友』は読まれない、のでしょうか。おそらく多くのロータリアンは否定されることでしょう。連載小説を掲載し、その部分が読まれたからといって、『友』の存在理由があるとはいえません。あくまでも「ロータリアンとしてどうか」が「おもしろい」や「おもしろくない」の議論より優先させた判断となるべきことで、各人の興味を満足させることが、この機関誌の発行目的ではありません。

■『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌です。

広報誌ではありませんので、ロータリアン以外の方々を対象にしては編集されていません。基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

「広報」については電子媒体の特性を生かし、一般からアクセスしやすい『ロータリージャパン』にロータリアン以外の人々にロータリーを知ってもらうための情報を入れるなどの工夫がなされています。

速報性については『ロータリージャパン』のホームページを活用していただき、『友』誌とウェブによる情報の共有、住み分けに努めています。

印刷媒体である『ロータリーの友』は速報性に劣りますが自ら貯え、分析し、読み深めるといった印刷媒体の特長を十分生かした編集を心がけていきます。

■『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場です。

ロータリアンとしての意見の開疎や経験談、職業上の知識などを掲載してロータリアン同士が堂々と議論し、交流をはかる「広場という空間」を提供します。『友』誌の縦組みのページがそれです。この広場にはたくさんのロータリアンがやってきて話し合い、旧交を温め、新しい出会いを喜ぶ・・・そんなロータリアンたちが行き交うことのできる『友』をイメージしています。

■Magazineには倉庫という意味があります。

いろいろな情報や思いが詰まっている倉庫から、何を取り出し、何を学び、何を感じ取っていただけるのかは、ロータリアン一人ひとりに託されていることです。『友』はそれらを提供して

いるにすぎません。

『友』をお読みいただくための誌面の刷新をはかろうとも、最後は、これを手にする読者であるロータリアンがどのように自分のために活用してくださるか、にかかっています。読まない、読みたくない、の理由づけにはこと欠きません。「〇〇だから読まない」の〇〇は、ロータリアン一人ひとりの意識や心の中にあることです。毎月定期的にお手元に届く『友』はもっとも効率よくロータリー情報を得ることができ、多くのメンバーの意見や経験を見たり読むことができる、ロータリアン共有の宝物です。

ロータリーを語る時、ロータリーを思う時、私たちの心の中には各人にとってのロータリーが広がっているはずです。一人ひとりの読み手の生き方によって読み方が異なってよいと思います。なぜ『友』を読むのか、の答えの一つがそんなところにあるように思います。

■『友』の編集方針

『ロータリー章典』に定められている「ロータリー地域雑誌は、ロータリーのあらゆる面にわたってロータリーの綱領を推進するために存在する」を遵守し、編集方針を定めています。「ロータリーの友委員会」の委員長は地区ガバナーに対して『友』運営の一切について責任を負っています。

『ロータリーの友』は日本のロータリー34地区のロータリークラブ会員のためのロータリー地域雑誌として、国際ロータリーの方針や全世界のロータリアンならびにロータリークラブの活動を国内の会員に紹介して海外のロータリー活動に対する興味を高め、国内の地区・ロータリークラブおよび会員の活動状況を紹介して親睦をはかり、また国内外における各種ロータリー情報を掲載することによりロータリー精神の涵養、ロータリー活動の発展に寄与することを、発行の目的としています。

■『友』の変遷

1953年の創刊当初は、横組みでのスタートでしたが、その後、歌壇など横組みでは具合の悪い記事が出はじめ、これらを縦組みとしたので、縦組み・横組みが交ざった雑誌となりました。1972年1月から従来の形式を一変し、縦組みと横組に分けた現在の姿になっています。

1977年クラブ定款第10条(現13条)の改正に伴い、公式地域雑誌の規定が設けられ、『ロータリーの友』は、1980年7月から公式地域雑誌(現、ロータリー地域雑誌)となりました。

■創刊50年で、新しい一步を踏み出す

1953年1月に創刊した『ロータリーの友』は、2003年1月で創刊50周年になりました。創刊50周年を迎えるに当たり、その年度初めにあたる2002年7月号からサイズならびに製本方法を変

更しました。さらに投稿欄など内容も一部変更して、新しい時代に合った『ロータリーの友』を目指して第一歩を踏みだしました。

新しい『ロータリーの友』は、B5判をA4変型判(縦280ミリ×横210ミリ)に変更、製本方法も無線綴じから中綴じに変更しました。同号からは本格的にコンピューター編集を採用、ロータリーの友事務所内で原稿整理から段組まで一切の作業ができるようになりました。用紙は、写真中心のページも、文字中心のページもきれいに印刷できる用紙に変更しました。

その後もすべてをカラーにしたり、用紙をさらに変更したり、さらには、新しい欄をつくったりして、より親しみやすい『友』になるよう努めています。

創刊当初は発行部数3,300部だった『ロータリーの友』は、55年後の2007年7月号では約10万7,500部に、および通巻655号を数えています。

2003年7月1日、『ロータリーの友』のホームページwww.rotary-no-tomo.jpを開設しました。印刷媒体にはない電子媒体の特性を生かして、国際大会や国際協議会などの折には現地からレポートを掲載し、最新の情報をいち早くお届けできるようになりました。

2007年3月からは、名称を『ロータリージャパン』に改称、URLもwww.rotary.or.jpに変更して、会員への情報提供だけでなく、広報の役割を果たすことができるようになりました。

■表紙について

年度初めの7月号は、『THE ROTARIAN』と同じく、その年度の新RI会長の写真を使用することがロータリー地域雑誌としての要件とされています。

8～6月号は、常任委員会で合議の上、決定しています。2006-07年度は、会員から写真を公募し、審査で選ばれた写真を掲載し、その作品についての解説を、縦組みの最後のページに掲載しましたが、2007-08年度も会員からの応募作品で表紙を飾っています。

皆さんも『ロータリーの友』に参加しましょう！！

ガバナー補佐を拝命して

R I 第 2640 地区 I M 1 組
ガバナー橋佐 泉 房次郎



私は IM 1 組の田辺 RC・田辺東 RC・白浜 RC・田辺はまゆう RC の 4 クラブを担当させて頂いています。4 クラブの会員数は 190 名で他クラブと比較して決して少ない数字ではありません。私はロータリー暦も 16 年と短く浅学菲才で先輩の多い中、年齢だけで強くプッシュされ、ばん止む無くガバナー補佐を引き受けた次第です。

元来私の IM 1 組では会員数の極端な減少・創立間もないと云う理由でガバナー補佐を回避し田辺 RC と田辺東 RC が、毎年キャッチボールの形で交互にガバナー補佐を受けていた次第です。私はガバナー補佐に就任以来先ずその問題をクリアすべく、クラブ訪問・クラブ協議会等に参加しガバナー補佐の重要性、責務について会長、幹事会員の皆さんと話し合いご理解を頂きやっと 2008-2009 度のガバナー補佐を白浜 RC より選出して頂く事になりました。私の責任の一端も果たせた事と嬉しく思っています。私もクラブ協議会公式訪問を含め各クラブを 5 回訪問させて頂きました。各クラブの特徴は異なりますが、自主的で熱心に取り組みお互い会話が出来た事私にとっては大きな収穫でした。時には CLP について、ガバナー補佐の見解を質問された時もあり少し赤面した事もありました。私も少しは手続き要覧を購読し、又 2640 地区以外のクラブのホームページを見て少しは勉強したこともありました。

皆さんもせっぱつまったときこそ力を発揮出来るのではないのでしょうか。平原ガバナーとは公式訪問、クラブ協議会以外は直接お話をする機会はありませんでしたが、非常にバイタリティーのある人間味の暖かいガバナーと感服しています。いつまでも RI の為頑張ってください。

私ごとですが、私も少しは仕事をしながら、ロータリアン・単位町内会長・田辺市自治会連合会長の大役を引き受け毎日が戦場のようです。残り 3 ヶ月となりましたが 17 名のガバナー補佐さまとの出会いを大切に、責務を全うすべく皆さんと共にロータリーを大いにエンジョイしたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

IM6組ガバナー補佐
細濱 亨



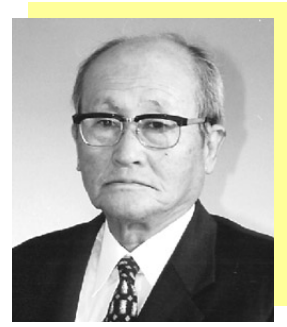
春爛漫の季節を迎えて花見、花より団子と楽しみの事と思いますが IM6 組「二人のガバナー補佐が居ます、貴多野泰夫様と私です、貴多野さんの受け持ちは岸和田、貝塚、6クラブです。私は佐野、泉南、阪南、5クラブです。」の会員、御家族の皆様お元気ですか、御訪問の節は大変楽しくお迎え下さって有難うございました。

どのクラブも立派な活動計画、行事を行っているのに驚きました。特に泉佐野ロータリークラブ 2月2日に京都大学総長 長池和夫氏を招いて、地震に対する講演を行い、大変好評で成功裡に終わりました。これからまだ地区大会、国際大会が有りますので、皆様参加をして下さいますよう、お願い申し上げます。

ガバナー補佐に任命されて良かった事は平原ガバナー初め、本当に熱心なロータリアンに出会えた事です。

良くなかった点は、私の休日が何回か、無くなったことです。

此れからは、人格の陶冶と自己研鑽に励み生きる喜びに感謝し、限り無きロータリーの奉仕の道に精進し地域社会に奉仕活動を展開していく所存でございます。皆様のご指導よろしく申し上げます。



堺東RC
ガバナー補佐 岡 敬三

A) クラブ訪問考案

1. 各クラブとも会員数の減少が憂慮される。
その上各クラブの格差の比較的大きいのに驚く。長所もあれば、短所もある。明るい、楽しいクラブと、暗く沈んでいるクラブも案外会員は自己満足している様にかけるが、各クラブを訪問して、広い視野で各クラブを監察すれば分る。各クラブ会員の他クラブへのメーキャップをおすすめする次第である。
女性会員の少ないクラブが多い。各クラブとも以後大いに努力されたい。
2. クラブ三大奉仕部門でも各クラブごとに特徴がある。国際奉仕に実績を上げているクラブ、全然奉仕をしていないクラブがある。特に社会奉仕は率直に理解しにくいし、実施には難しいようである。これにも各クラブで格差がある。
3. 各クラブとも独自の特徴を1～2つすることに配慮されたい。これが誇りうるものであれば素晴らしいではないか。
4. 各クラブとも前向きの姿勢が大切と思われる。親睦委員長には特に大切に、よい思い出を多く作っていただきたい。
米山奨学会には特に深い御理解と努力を御願いたい。

B) 結論

品位を向上し、明るく楽しいクラブを第一と考える。これが最も大切と思われる、楽しいのは会員増強、出席率向上、退会防止に連動する。

以上



ガバナー補佐 雑感

国際ロータリー第 2640 地区 IM 8 組
ガバナー補佐 池田 茂雄



堺北ロータリークラブの池田です。2007～08年度のガバナー補佐を拝命することとなり、それに先がけて本番前の昨年春頃から研修セミナーや地区協議会それに補佐会議など各種の会合に出席し勉強させて頂きました。いよいよ本番の7月を迎えましたが、先ず一番に考えたことは、今まで過ごしてきた20数年のロータリー会員としての経験を生かしながら、気軽な気持ちでお役目が果たせたらと云うことでした。

ガバナー補佐、すなわちガバナーの補佐役として5つのクラブを担当することとなり、順次各クラブの訪問を始めさせて頂きました。クラブ訪問では会長さん幹事さんと親しくお話しをさせて頂いたり、会員の皆さまとの会話を通していろいろなことを教えられました。又、クラブ協議会では、各委員長さんからの活動計画や活動状況などを拝聴したり、こちらから質問させて頂いたりしましたが、大いに勉強になりました。私自身が反省させられることが多々ありました。ともすれば忘れがちになっていた「奉仕の心」を取り戻す良い機会にもなりました。やがて迎えた「ガバナー公式訪問」では、補佐としてのクラブ訪問時よりずいぶんとリラックスした気分でガバナーのお話しを聴かせて頂きました。回を重ねるうちに、クラブの雰囲気伝わってくるのを感じました。各クラブとも、それぞれのアイディアでユニークなクラブ運営をしておられ、又、社会奉仕に国際奉仕にと、各クラブが特色を持った取り組みをしておられることに強い感銘を受けました。

次に、ガバナー補佐として大変であり、又、有益でもあったことは、7月下旬から9月下旬まで、ほとんど毎週土曜日「和歌山J Aビル」において各委員長会議等が開催され、その会合に出席させて頂いたことです。「クラブ奉仕部門・職業奉仕部門・社会奉仕部門・国際奉仕部門」、それにそれぞれ奉仕部門のうち、社会奉仕委員会、広報委員会、財団委員会、世界社会奉仕委員会などなど10数回に亘り勉強させて頂きました。ガバナーはじめパストガバナーの皆さま、地区各委員長の皆さま、本当に有難うございました。

あと3ヶ月あまりとなりましたが、これからも皆さまとともにガバナーのスローガンである「ロータリーを楽しもう」・「地区大会を成功させよう」・「世界大会に参加しよう」のもと有意義な時間を過ごしたいと思っております。



2010～11年度地区ガバナー候補者推薦について

国際ロータリー第2640地区

ガバナー 平原 祥彰

拝啓 陽春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、地区運営に一方ならぬご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本地区のガバナー候補者推薦につきましては、従来より各クラブからの自発的な推薦を待って該当候補者につき指名委員会が審議を行い、的確と思われる候補者をガバナー・ノミネーとして指名してきましたが、広く人材を求めるべく数年前から、R I細則13条2節3項により、ガバナー候補者の推薦を地区内各クラブに要請してまいりました。

つきましては、下記により2010～11年度国際ロータリー第2640地区のガバナー候補者をご推薦賜りたく、お願い申し上げます。

敬具

記

地区ガバナー候補者の資格条件として次の各項が要求されますが、詳しくは2007年度手続要覧をご参照下さい。(2007年度手続要覧は2008年3月～4月に届く見込み)

- (1) 瑕疵なきロータリアンであること
- (2) 完全に会員資格を有する者
- (3) 瑕疵なきクラブに所属していること
- (4) クラブの元会長であること
- (5) ガバナーの任務を遂行できる能力のあること
- (6) ガバナー就任の時点で通算7年以上会員であること
- (7) 選出時点でクラブ会長を全期務めたことのある者

ガバナー候補者推薦状は、R I細則第13条2節4項(2007年規定審議会改正後の条文です)をご参照の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、**2008年5月10日まで**に地区ガバナー指名委員会宛(ガバナー事務所内)へご提出下さい。

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN4ビル2F

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所内 地区ガバナー指名委員会

新入会員紹介

2 月



しみず まさと
清水 柁人

所属クラブ：藤井寺しゅらRC
職業分類：コンタクトレンズ販売
生年月日：1977年2月1日



やぎ ひでとみ
八木 秀富

所属クラブ：泉大津RC
職業分類：老人保健施設
生年月日：1951年12月19日



ひらの かずお
平野 一夫

所属クラブ：高野山RC
職業分類：薬局
生年月日：1937年9月16日



すみだ すすむ
住田 進

所属クラブ：松原RC
職業分類：輸送用機械器具製造
生年月日：1949年4月8日



あおき あきら
青木 章

所属クラブ：堺中RC
職業分類：保険代理業
生年月日：1953年8月8日



うえはし まさよし
上橋 将良

所属クラブ：堺フェニックスRC
職業分類：貨物運送
生年月日：1950年1月18日



よしだ へいじ
吉田 平二

所属クラブ：堺清陵RC
職業分類：建設業
生年月日：1948年2月14日



訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



なかの としお
中野 利生様 (海南RC)

2008年2月17日死去

在籍期間：54年

職業分類：酒類販売

ポールハリスフェロー：

マルチプル・ポールハリスフェロー

米山功労者：米山功労者

生年月日：1912年11月19日



たに かずみつ
谷 一光様 (和泉RC)

2008年2月20日死去

在籍期間：11年7カ月

職業分類：航空サービス

ポールハリスフェロー：

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者：第2回米山功労者

生年月日：1943年1月1日

PHF・ベネファクター（2月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
南出 正太郎	1	和泉	大引 泰造	2	堺おおいずみ
杉田 憲貞	1	和泉	万代 恒美	1	堺おおいずみ
桃田 隆彦	BE	和泉	柳川 弘	6	那智勝浦
平田 隆則	BE	海南	川崎 行彦	2	和歌山城南
平尾 寧章	2	海南東	田井 隆	2	和歌山城南
辻 秀輝	1	海南東	堀井 明		和歌山南
吉野 稔	1	海南東	野村 壮吾		和歌山南
安野 和子	BE	貝塚コスモス	窪田 暁	2	和歌山南
南 宗久	3	貝塚コスモス	大平 洋和	4	和歌山中
守行 善五郎	5	貝塚コスモス	中板 国夫	2	和歌山東南
西納 智	2	貝塚コスモス	中村 美之	1	和歌山東南
高石 賢一	3	貝塚コスモス	太田 豊隆	2	和歌山東南
柳田 正子	2	貝塚コスモス	津川 善昭	1	和歌山東南
山口 征一	BE	河内長野東			

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者（2月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
中平 武治	4	有田南	坂東 剛	2	高石
宮田 貞三	2	海南東	木本 淑規	4	高石
福岡 敏文	4	岸和田	平 正明	4	高石

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
雪本 清登志	4	岸和田	山内 俊一郎	2	高石
寺田 近義	9	岸和田東	米田 実	2	高石
山本 新一郎	3	岸和田東			



ハイライトよねやま 97号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

.....
 ::今月のトピックス::



2008年3月13日発行

-
1. 寄付金速報 — 3カ月ぶりに前年度を上回る —
 2. ベトナム現地採用奨学生の最新情報
 3. すばらしい青年との出会いに感謝 — カウンセラーからの便り —

文庫通信 (247号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

記念講演から

- ◎「藤沢周平を通して見る庄内山形」 山田洋次 (D.2800 地区大会) 2006 5p
- ◎「まちを生き活きとさせる建築」 伊東豊雄 (D.2600 地区大会) 2006 15p
- ◎「日本の進むべき道」 上坂冬子 (D.2590 地区大会) 2007 9p
- ◎「日本の美と現状」 アレックス・カー (D.2630 地区大会) 2006 5p
- ◎「税金の使われ方」 浜田幸一 (D.2770 地区大会) 2007 2p
- ◎「『内助の功』と『大出世』の虚実—検証・山内一豊伝説」 渡部 淳 (D.2670 地区大会) 2006 14p
- ◎「河内の英雄『楠木正成』」 永島龍弘 (D.2640 地区大会) 2007 8p
- ◎「未来を切り拓く経営者たち」 福島敦子 (D.2640 地区大会) 2007 5p
- ◎「人口減少時代の地域経済」 藻谷浩介 (D.2600 地区大会) 2007 31p

[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>



開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

第2640地区 出席報告(2008年2月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	2月 出 席 率	平 均 出 席 率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	2月 出 席 率	平 均 出 席 率
	07.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計					07.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計			
有 田	37	37	0	0	0	0	3	89.74	86.53	大 阪 金 剛	30	30	0	0	0	0	4	84.20	85.60
有 田 南	38	33	0	0	0	5	3	96.67	90.94	大 阪 狭 山	5	5	0	0	0	0	4	95.00	88.10
有 田 2 0 0 0	20	19	0	0	0	1	4	73.68	75.28	りんくう泉佐野	26	26	0	0	0	0	3	85.49	83.42
藤 井 寺	12	10	0	0	1	2	4	100	91.10	堺	77	79	0	5	0	3	4	84.91	89.40
藤井寺しゅら	16	17	1	1	0	0	4	86.80	89.60	堺 東	33	32	0	0	0	1	4	98.21	98.51
御 坊	55	56	0	2	0	1	5	91.20	90.80	堺 北 西 南 西	19	19	0	0	0	0	4	63.88	76.09
御 坊 東	20	21	0	1	0	0	4	86.91	83.44	堺 泉 ケ 丘	23	24	0	2	0	1	4	94.79	95.41
御 坊 南	33	32	0	1	0	2	4	82.26	87.88	堺 北	37	37	0	0	0	0	4	68.54	75.67
羽 曳 野	29	30	0	6	0	5	4	86.97	91.53	堺 南	37	34	0	0	0	3	3	85.56	87.04
羽 衣	24	23	0	1	0	2	4	91.30	86.32	堺 中	30	28	1	2	0	4	4	72.53	66.06
阪 南	15	14	0	1	0	2	4	92.85	97.05	堺 西	25	26	0	1	0	0	4	86.25	86.37
橋 本	55	56	0	3	0	2	4	88.94	91.32	堺おおいずみ	32	32	0	1	0	1	4	78.13	81.89
橋本紀ノ川	22	24	0	2	0	0	4	82.50	83.70	堺フェニクス	22	22	1	1	0	1	4	71.25	74.00
岩 出	29	29	0	0	0	0	4	87.93	92.04	堺 清 陵	24	25	1	1	0	0	4	95.45	95.85
和 泉	39	38	0	1	1	2	4	79.86	79.08	堺 泉 北	12	10	0	0	0	2	4	78.55	84.61
和 泉 南	35	38	0	3	0	0	4	53.29	53.03	堺 東 南	14	13	0	0	0	1	4	80.00	77.96
泉 大 津	50	54	1	4	0	0	5	80.43	80.71	泉 南	23	20	0	0	0	3	5	84.44	83.72
泉 佐 野	34	37	0	4	0	1	4	88.71	88.81	新 宮	59	58	0	3	0	4	4	88.36	83.81
海 南	45	47	0	5	1	3	4	72.09	69.06	白 浜	17	17	0	0	0	0	5	82.67	93.74
海 南 東	69	69	0	0	0	0	3	80.88	82.34	忠 岡	15	15	0	0	0	0	4	61.54	64.23
海 南 西	24	24	0	2	0	2	3	85.55	85.11	太 子	6	7	0	1	0	0	3	80.94	78.47
貝 塚	20	22	0	4	0	2	4	100	99.16	高 石	30	30	0	1	0	1	3	78.20	74.65
貝塚コスモス	21	22	0	1	0	0	4	89.77	86.30	高 師 浜	21	19	0	0	0	2	4	81.94	83.29
関西国際空港	35	34	0	2	0	3	4	61.36	68.69	田 辺	85	86	0	3	0	2	4	93.53	89.44
河 内 長 野	31	30	0	1	0	2	5	86.60	84.60	田 辺 は ま ゆ う	39	36	0	3	0	6	4	72.53	70.89
河 内 長 野 東	26	28	0	2	0	0	4	82.13	83.09	田 辺 東	50	51	0	1	0	0	4	87.23	91.30
岸 和 田	54	52	0	1	1	3	4	75.52	81.32	富 田 林	37	38	0	2	0	1	4	71.43	74.77
岸 和 田 東	56	54	0	0	1	2	5	92.50	90.50	富 田 林 南	21	21	0	1	0	1	4	77.78	79.15
岸 和 田 北	31	30	0	0	0	1	3	96.39	95.61	和 歌 山	73	76	0	4	0	1	4	87.31	84.62
岸 和 田 南	21	22	0	1	0	0	4	97.72	94.04	和歌山アゼリア	44	42	0	0	0	2	3	81.74	79.46
粉 河	23	23	0	0	0	0	4	92.39	94.16	和 歌 山 東	58	56	0	1	0	3	4	93.05	90.64
高 野 山	25	25	1	1	1	1	5	75.60	78.64	和 歌 山 城 南	39	41	0	2	0	0	4	89.86	89.33
串 本	10	10	0	0	0	0	4	70.00	72.19	和 歌 山 北	47	48	0	2	0	1	3	74.01	76.29
松 原	39	38	1	1	0	2	4	75.91	83.83	和 歌 山 南	87	90	0	3	0	0	5	78.42	83.09
松 原 中	23	25	0	2	0	0	4	69.56	82.72	和 歌 山 中	32	31	0	0	0	1	4	80.20	79.82
美 原	24	26	0	3	0	1	4	86.50	90.30	和 歌 山 西	20	21	0	1	0	0	4	95.00	94.78
那 智 勝 浦	20	20	0	0	0	0	4	86.84	73.61	和 歌 山 東 南	39	39	0	0	0	0	4	80.41	85.18

クラブ	7月1日クラブ会員数				2月末クラブ会員数				2月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2319	女性	129	男性	2322	女性	131		2月	累計	2月	累計
74	2448				2453				81.02	7	97	6	92

4 月 ローターリー雑誌月間

1日	(火)		
2日	(水)		
3日	(木)		
4日	(金)		
5日	(土)	和歌山城南RC創立 20 周年記念例会	ダイワロイネットホテル
6日	(日)	2008 学年度 米山奨学生オリエンテーション	テクスピア大阪
7日	(月)		
8日	(火)		
9日	(水)		
10日	(木)		
11日	(金)		
12日	(土)	地区大会(地区指導者育成セミナー)	アパローム紀の国
13日	(日)	↓ 県民文化会館	
14日	(月)		
15日	(火)		
16日	(水)		
17日	(木)		
18日	(金)		
19日	(土)	羽曳野RC創立 35 周年記念式典	スイスホテル
20日	(日)	ローターアクト新旧役員エレクト研修会	
21日	(月)		
22日	(火)		
23日	(水)		
24日	(木)		
25日	(金)	GSE送別会	アパローム紀の国
26日	(土)	IA顧問会議	テクスピア大阪
27日	(日)		
28日	(月)		
29日	(火)		
30日	(水)		



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-mail info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/hirahara/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 宇田 勝彦

事務職員 山本千恵子 平田有紀子